

事業者提出資料等に基づく火災発生危険の比較

	紙巻たばこ	加熱式たばこ		
		<資料4-1>	<資料4-2>	<資料4-3>
		IQOS 	Ploom TECH 	glo 
燃焼の有無	あり	なし (P.1)	なし (P.1)	なし (P.1)
煙の有無	あり	なし (P.1)	なし (P.1)	なし (P.1)
火種の有無	あり	なし (P.8)	なし (P.2)	なし (P.1)
加熱・燃焼部の露出状況	露出	露出なし (P.3)	露出なし (P.2)	露出なし (P.2)
加熱・燃焼部の温度	700~800°C※	350°C以下 (P.2) (加熱ブレード)	250~290°C (P.2) (ヒーター)	240±5°C (P.2) (ヒーター)
外周部の温度	200~300°C※	61°C以下 (P.2)	40°C未満 (P.2)	およそ25°C (P.2) (装置外部最高温度48°C) (P.13)
吸殻等の消火処置	消火必要	不要 (P.1)	不要 (P.2)	不要 (P.2)
安全装置等	なし	あり ・加熱ブレードオフ機能 (P.3) ・ソフトウェア或いはハードウェアの不具合によって加熱が制御されない場合のために、プリント回路板上に二重のフェールセーフスイッチ(加熱ブレードへの電流を自動的に止めるよう設定) (P.11)	あり ・吸引を感知した場合のみヒーターに通電し作動 (P.2) ・過電流保護回路 (P.3) ・落下試験や衝撃試験等を実施し、危険な事象が生じないことを確認。 (P.4)	あり ・機器の故障や電圧の急激な変化などの異常発生時にはヒーター部への電流供給を遮断 (P.2) ・高温の異物挿入時に加熱中断 (P.3) ・温度の急上昇・急下降や加熱部の温度の不一致を感知し、異常加熱を防止 (P.3) ・第三者機関により家庭用品及びこれに類する電気機器の安全性の評価を受けている(機械的強度含む)。 (P.4)

※ 参考文献：新火災調査教本第6巻（東京消防庁）平成14年3月